

# インド債券オープン（毎月決算型）

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2022年2月11日～2022年8月10日

第127期決算日：2022年3月10日 第130期決算日：2022年6月10日

第128期決算日：2022年4月11日 第131期決算日：2022年7月11日

第129期決算日：2022年5月10日 第132期決算日：2022年8月10日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、インドの公社債、および国際機関債を実質的な主要投資対象とし、債券からの安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を目指して運用することを目的としております。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

### 第132期末（2022年8月10日）

基準価額 8,404円

純資産総額 15,215百万円

### 第127期～第132期

騰落率 +9.1%

分配金合計(\*) 210円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法

<https://www.am.mufig.jp/>[ファンド検索] に  
ファンド名を入力各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード**MUFG** 三菱UFJ国際投信東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufig.jp/>

### 当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル  0120-151034

(受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# 運用経過

第127期～第132期：2022年2月11日～2022年8月10日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第127期首	7,899円
第132期末	8,404円
既払分配金	210円
騰落率	9.1%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

**基準価額の動き**

基準価額は当作成期首に比べ9.1%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

**基準価額の主な変動要因****上昇要因**

債券利子収入を享受したことやインド・ルピーが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

**下落要因**

インド国債の利回りが上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

※参考指数は、J.P. Morgan GBI-EM Broad India（円換算）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※参考指数は、当作成期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2022年2月11日～2022年8月10日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第127期～第132期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	68	0.818	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(34)	(0.414)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(32)	(0.382)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	5	0.055	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(4)	(0.050)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.003)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	73	0.873	

作成期中の平均基準価額は、8,273円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

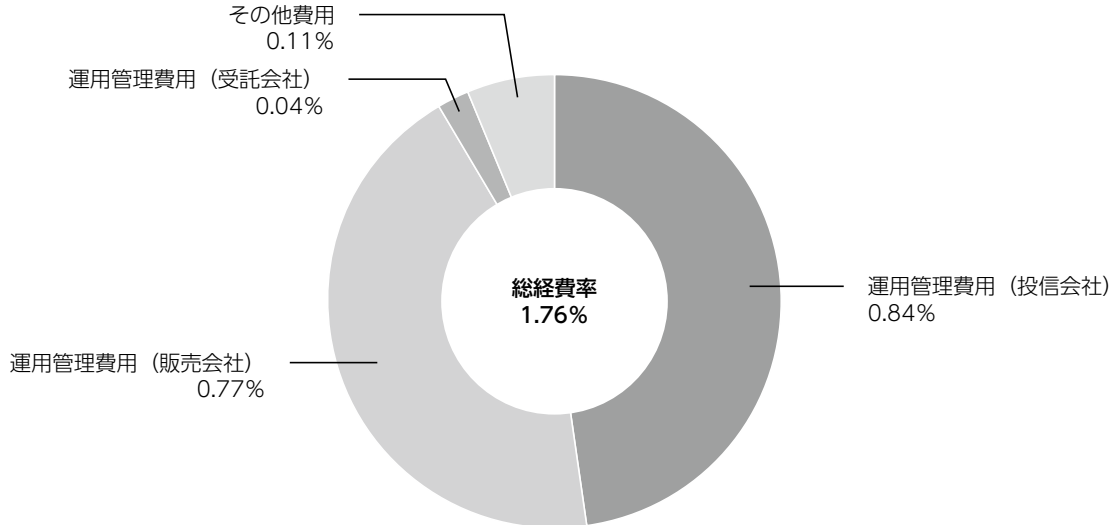
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.76%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

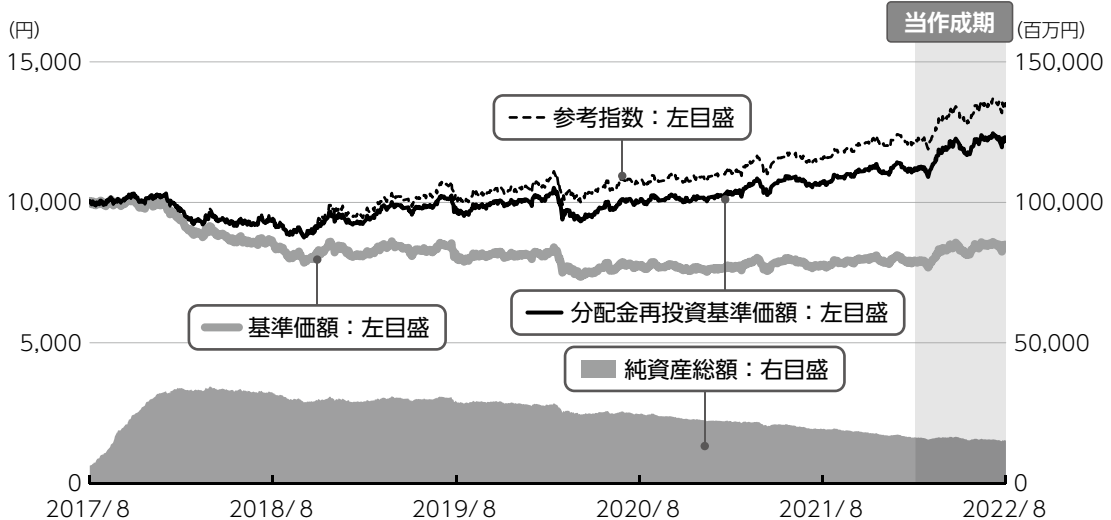
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2017年8月10日～2022年8月10日

## 最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、参考指数は、2017年8月10日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。  
 ※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2017/8/10 期初	2018/8/10 決算日	2019/8/13 決算日	2020/8/11 決算日	2021/8/10 決算日	2022/8/10 決算日
基準価額 (円)	10,049	8,530	7,963	7,710	7,732	8,404
期間分配金合計 (税込み) (円)	-	840	800	600	465	420
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	-7.1	2.9	4.5	6.5	14.5
参考指数騰落率 (%)	-	-6.1	6.4	6.8	7.6	17.1
純資産総額 (百万円)	6,277	32,052	28,613	24,607	19,277	15,215

※ファンド年間騰落率は、参考指数年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

参考指数は、J.P. Morgan GBI-EM Broad India（円換算）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第127期～第132期：2022年2月11日～2022年8月10日

## 投資環境について

### ▶ 債券市況

#### インド5年国債利回りは上昇しました。

当作成期首から2022年4月にかけてはウクライナ情勢緊迫化による投資家のリスクセンチメントの悪化や、米国の利上げ開始に伴う世界的な金利上昇などから、インドにおいても利回りは上昇しました。その後も、インド準備銀行（RBI）が市場予想に反して政策金利を前倒しで引き上げ、インフレ抑制を優先する方針を明確にしたことなどから、早期の金融正常化観測が高まり、利回りは上昇しました。当作成期末にかけては、6月の消費者物価指数（CPI）の伸びがRBIのインフレ目標を上回ったものの、市場予想を下回る数値であったことなどから、RBIの金融政策正常化に対する市場の警戒感が幾分か和らぐ格好となり、利回りは低下しました。また、景気減速懸念

を背景に欧米などの主要先進国金利が低下したことも、利回り低下の一因となりました。結果、当作成期を通じてみると、インド5年国債利回りは上昇しました。

### ▶ 為替市況

#### インド・ルピーは対円で上昇しました。

当作成期首から2022年4月にかけては、インド国債利回りが上昇する中、日銀が緩和的な金融政策を維持したことがインド・ルピーの対円での上昇要因となりました。その後、RBIの利上げ方針や日銀が緩和的な金融政策を継続したことが上昇要因となる一方、株式市場からの資金流出や原油価格高止まりによる経常収支悪化への懸念などが下落要因となり、インド・ルピーは対円で横ばいとなりました。結果、当作成期を通じてみると、インド・ルピーは対円で上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ インド債券オープン（毎月決算型）

インド債券オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、組入比率を高位に保ちました。

### ▶ インド債券オープン マザーファンド

インドの公社債、および国際機関債を主要投資対象とし、これらの債券を高位に

組み入れて運用を行いました。また、社債については、インベスコ・アセット・マネジメント・プライベート・リミテッド（インド）のアドバイスを受け、運用を行いました。

※社債については、インドの企業が実質的に100%出資する企業（所在地はインドに限りません。）が発行する社債を含みます。

インド・ルピー建債券のほか、米ドル建債券にも投資しました。また、米ドル建債券への投資にあたっては、実質的にインド・ルピー建となるように直物為替先渡取引（NDF）等を行いました。

※直物為替先渡取引とは、一種の外国為替先渡取引であり、決済時に元本の受け渡しを行わずに、取引時に決定した取引レートと決済レートの差および元本により計算した額を、米ドル等に換算して、受け渡しを行う取引です。

インドの外国人投資家に対する投資枠を利用して、利回りが相対的に高いイン

ド・ルピー建債券を積極的に組み入れています。

外貨建資産について、対円での為替ヘッジは行いませんでした。

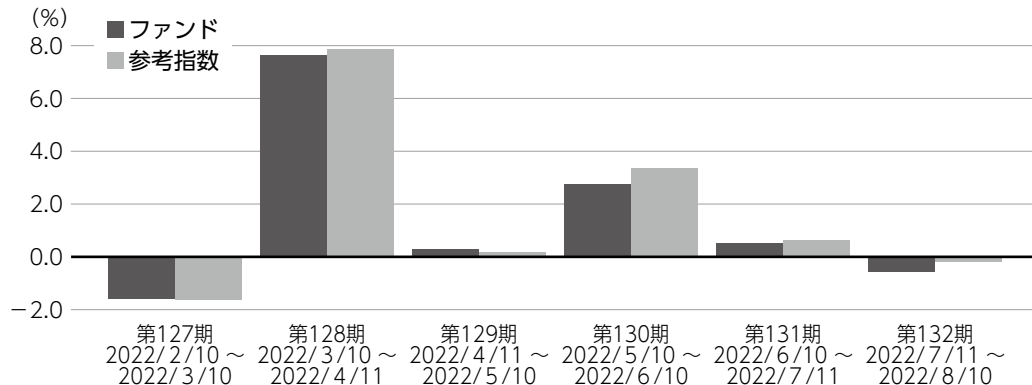
デュレーションについては、作成期首は5.2程度とし、作成期末は5.1程度としました。

※デュレーションとは、「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

第127期～第132期：2022/2/11～2022/8/10

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

### 基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はJ.P. Morgan GBI-EM Broad India（円換算）です。



## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第127期 2022年2月11日～ 2022年3月10日	第128期 2022年3月11日～ 2022年4月11日	第129期 2022年4月12日～ 2022年5月10日	第130期 2022年5月11日～ 2022年6月10日	第131期 2022年6月11日～ 2022年7月11日	第132期 2022年7月12日～ 2022年8月10日
当期分配金 （対基準価額比率）	<b>35</b> (0.450%)	<b>35</b> (0.420%)	<b>35</b> (0.421%)	<b>35</b> (0.411%)	<b>35</b> (0.411%)	<b>35</b> (0.415%)
当期の収益	24	35	27	35	35	31
当期の収益以外	10	－	7	－	－	3
翌期繰越分配対象額	298	313	306	319	323	320

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

### ▶ インド債券オープン（毎月決算型）

引き続き、インド債券オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち運用を行っていく方針です。

### ▶ インド債券オープン マザーファンド

引き続き、インドの公社債、および国際機関債を主要投資対象として運用を行い、これらの債券を高位に保ちます。

インドの外国人投資家に対する投資枠を活用した運用を継続します。

インド・ルピー建以外の債券に投資した場合には、原則として、実質的にインド・ルピー建となるように直物為替先渡取引（NDF）等を行います。

外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わない方針です。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

## ▶ その他

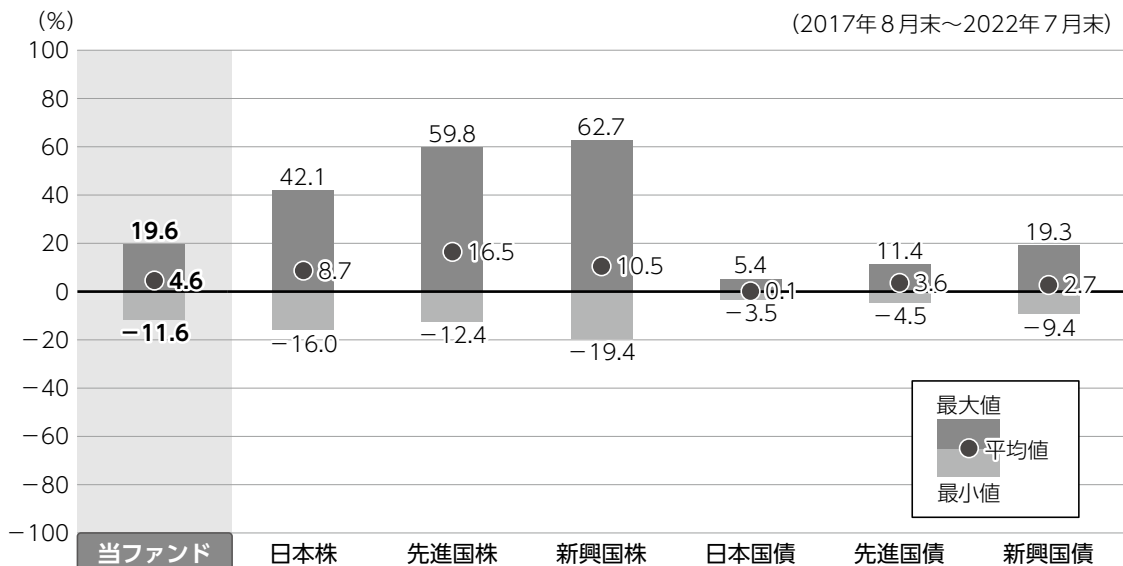
- ・該当事項はありません。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufig.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

# 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2027年2月10日まで（2011年8月19日設定）
運用方針	ファミリーファンド方式により、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	<p>■当ファンド インド債券オープン マザーファンド受益証券</p> <p>■インド債券オープン マザーファンド インドの公社債*、および国際機関債 *社債については、インドの企業が実質的に100%出資する企業（所在地はインドに限りません。）が発行する社債を含みます。</p>
運用方法	インドの公社債、および国際機関債を主要投資対象とし、債券からの安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を目指します。
分配方針	毎月10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）

# ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2017年8月から2022年7月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

## 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
日本国債	NOMURA-BPI（国債）
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本）
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2022年8月10日現在

## 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第132期末 2022年8月10日
インド債券オープン マザーファンド	99.7%

※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

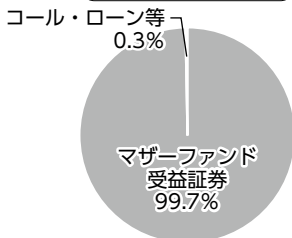
### 純資産等

項目	第127期末 2022年3月10日	第128期末 2022年4月11日	第129期末 2022年5月10日	第130期末 2022年6月10日	第131期末 2022年7月11日	第132期末 2022年8月10日
純資産総額 (円)	15,599,275,572	16,261,972,422	16,022,869,450	15,829,667,444	15,508,679,182	15,215,170,995
受益権口数 (口)	20,154,555,192	19,601,644,487	19,336,502,039	18,669,825,012	18,275,603,101	18,104,991,440
1万口当たり基準価額 (円)	7,740	8,296	8,286	8,479	8,486	8,404

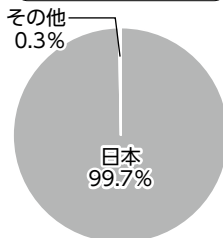
※当作成期間中（第127期～第132期）において追加設定元本は236,238,311円  
同解約元本は2,798,266,777円です。

### 種別構成等

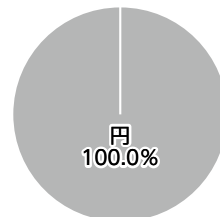
#### 資産別配分



#### 国・地域別配分



#### 通貨別配分



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

154040

2022年8月10日現在

## 組入上位ファンドの概要

## ▶ インド債券オープン マザーファンド

## 基準価額の推移

2022年2月10日～2022年8月10日



## 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：63銘柄)

	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	8.24 INDIA GOVT 331110	債券	インド	国債	5.5
2	8.3 INDIA GOVT 400702	債券	インド	国債	4.9
3	6.68 INDIA GOVT 310917	債券	インド	国債	4.4
4	9.23 INDIA GOVT 431223	債券	インド	国債	4.2
5	6.19 INDIA GOVT 340916	債券	インド	国債	3.5
6	8.17 INDIA GOVT 441201	債券	インド	国債	3.5
7	7.73 INDIA GOVT 341219	債券	インド	国債	3.4
8	7.83 IND RAIL F 270319	債券	インド	特殊債	3.3
9	7.95 HDFC BANK LT 260921	債券	インド	社債	3.3
10	5.79 INDIA GOVT 300511	債券	インド	国債	3.0

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

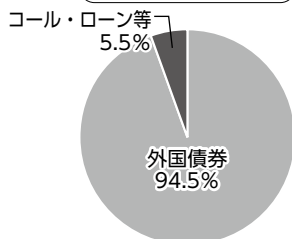
※社債には政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券が含まれております。

※原則、国・地域については、BloombergのCountry of Riskを表示しています。

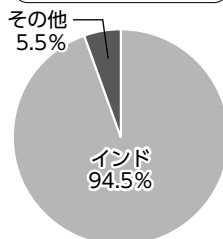
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 種別構成等

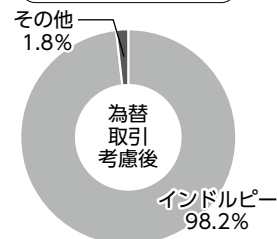
## 資産別配分



## 国・地域別配分



## 通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、BloombergのCountry of Riskを表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

# 指数に関して

## ▶ ファンドの参考指数である『J.P. Morgan GBI-EM Broad India（円換算）』について

J.P. Morgan GBI-EM Broad India（円換算）は、J.P. Morgan GBI-EM Broad India（インド・ルピー建て、ヘッジなし）（出所：J.P. Morgan）の基準日前営業日の指数を基準日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により三菱UFJ国際投信が円換算したうえで当該ファンドの設定日を10,000として指数化したものです。情報は、信頼性があると信じられる情報源から取得したのですが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2015, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ● 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの数値及びTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

### ● MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村証券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ● FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ● JPMorgan GBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorgan GBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P. Morgan・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ.P. Morgan・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信